



お客さま用資料

Japan Best Stock

岡三証券
OKASAN SECURITIES

OKASAN SECURITIES CO.,LTD. Investment Strategy Dept.

2021年8月18日
投資情報部

Japan Stock(日本株)

×

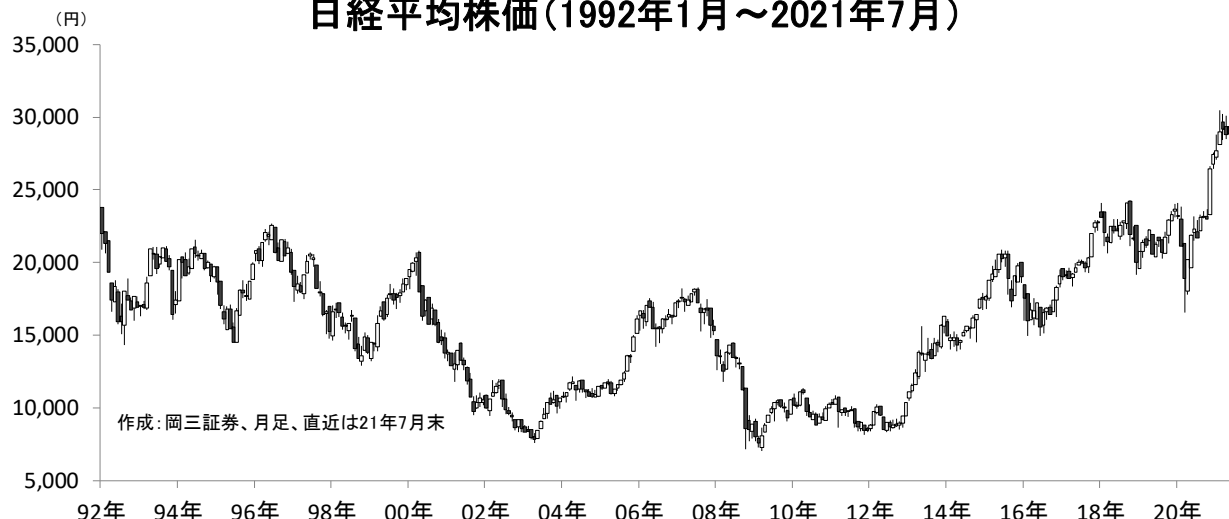
Best Stock(長期保有での溜め込みに適した銘柄)

= Japan Best Stock !!!

岡三証券
OKASAN SECURITIES

OKASAN SECURITIES CO.,LTD Investment Strategy Dept.

日経平均株価(1992年1月~2021年7月)



●真に稼ぐ力を有する企業に投資!

日本企業の「稼ぐ力」が高まっている。コロナ禍等の逆風をはねのけ、真に「稼ぐ力」を有する企業や、構造改革を断行し事業の「選択と集中」を進め、持続的な成長が期待できる企業が増えており、利益の出やすい「筋肉質」な構造を築きつつある。

こうした企業は、収益が景気変動に左右されにくくなっていることから、持続的に利益が伸長する傾向にある。株価の上昇ストーリーが描きやすく、半年から1年先程度の中長期で保有すれば株主の利益は拡大する可能性が高くなる。

<<Japan Best Stock(JBS)の選定銘柄>>

| | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|----------------|---------------------------------|
| エムスリー (2413) | イビデン (4062) | 信越化学工業 (4063) | テルモ (4543) | オリエタルランド [*] (4661) |
| リクルートHD (6098) | ダイキン工業 (6367) | ダイフク (6383) | 日本電産 (6594) | オムロン (6645) |
| 富士通 (6702) | ソニーグループ (6758) | アドバンテスト (6857) | デンソー (6902) | ファナック (6954) |
| 村田製作所 (6981) | トヨタ自動車 (7203) | シマノ (7309) | トプコン (7732) | オリンパス (7733) |
| HOYA (7741) | 東京エレクトロン (8035) | ユニ・チャーム (8113) | SGHD (9143) | ファーストリテイリング (9983) |

※除外銘柄: NEC、NTT(除外理由はp.10に記載) ※追加銘柄: シマノ、トプコン

※背景の色: 赤色=「JBS七選」採用銘柄、青色=「JBS」採用銘柄。

※信越化学工業、テルモ、ダイキン工業、日本電産、ソニーグループ、デンソー、HOYAは「JBS七選」採用銘柄のため、別途資料をご参照ください。

一方で、業績不振企業に対する投資家の視線は厳しくなっている。銘柄選別においても、「選択と集中」が要求されている格好だ。持続的な利益成長が見込めなければ、株価の上昇は短命に終わる傾向にある。

こうした企業への投資で継続的に利益をあげていくには、タイミングを見計らって売買しなければならない。タイミングの選択が「生命線」となるが、アルゴリズムが支配する現状のマーケットでは、タイミングを計って持続的に利益を積み増し続けるのは難しいだろう。

●「森より木をみる」戦略を徹底！

足元の日本株相場は、短期志向の投資家の割合が高まっており、全体相場がその影響を受けやすくなっている。このように、短期

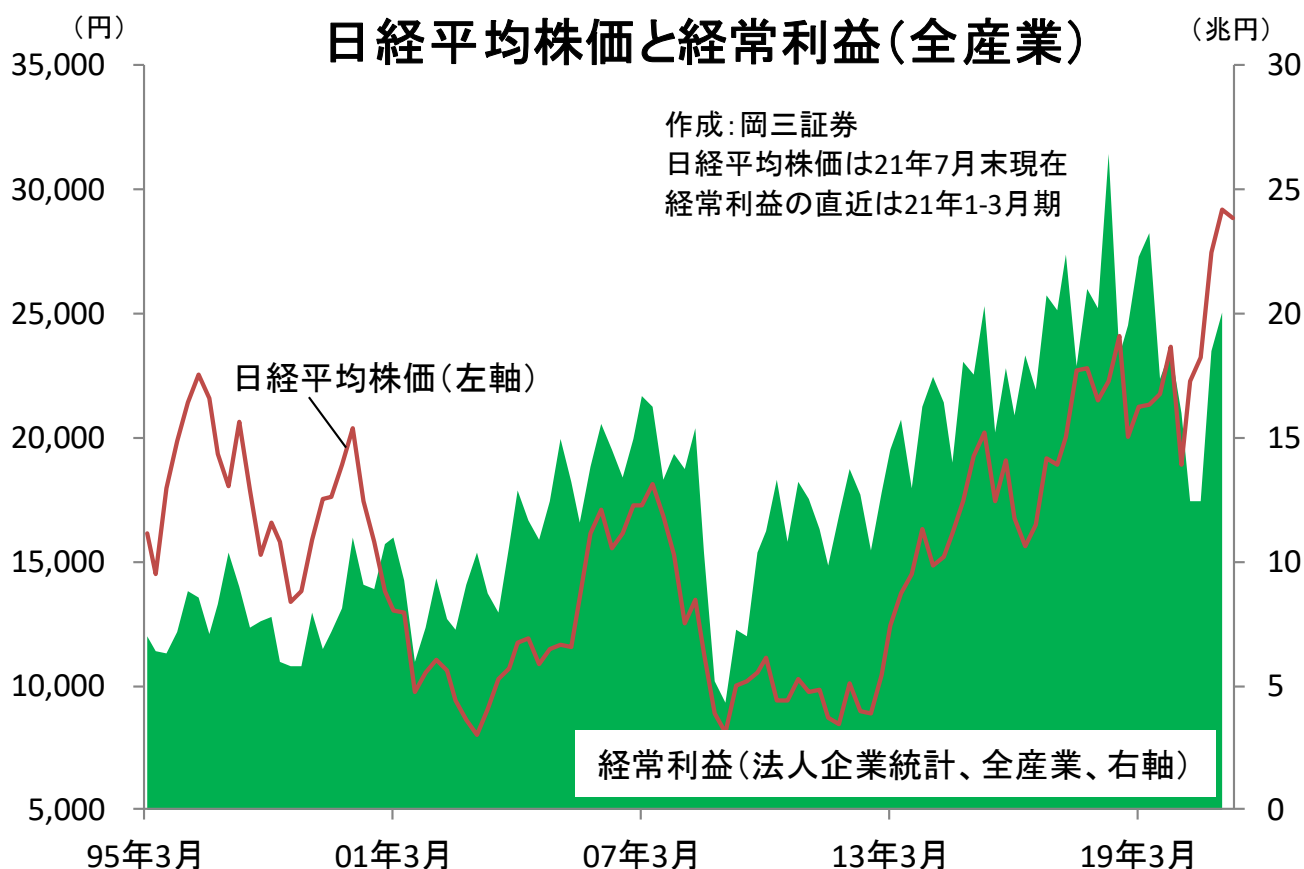
志向全盛の今だからこそ、あえて中長期投資を標榜したい。

その上で、「いつ投資する」ではなく、「何に投資するのか」を重要視すべきだろう。「稼ぐ力を持っている企業に資金を預け、企業に儲けてもらう」という発想で日本企業に投資すれば、大きな果実を手に入れることが可能と考える。

こうした状況下、あえて「森より木をみる」戦略を徹底し、中長期投資にかなう銘柄を選定した。選定銘柄は、今後持続的に利益が拡大する見込みのある企業とし、大型・中小型株を問わず厳選している。是非積極的に買い溜めていただき、資産形成にお役立っていただきたい。

<中長期では業績と株価は概ね連動する>

日経平均株価と経常利益(全産業)



エムスリー (2413)

8/13株価：7,159円

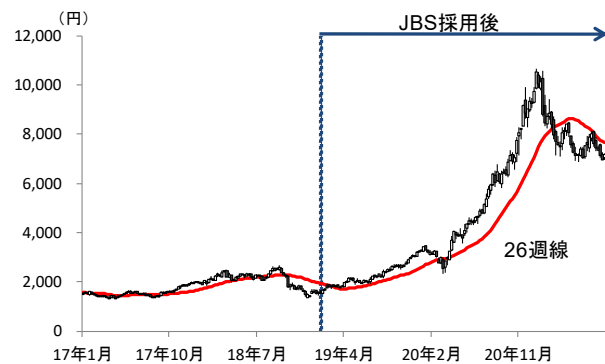
(JBS採用時点株価：1,955円※株価は分割を考慮)

●医療従事者専門サイト「m3.com」を運営

「m3.com」は国内医師の大部分にあたる30万人が会員登録する。医療現場でのオンライン予約や電子決済、オンライン診療などDX化支援を積極化。

★22年度も順調なスタート

22/3期1Qは前年同期比31%増収、営業利益は同2.2倍で着地。人員大幅拡大で、主力事業の利益率が低下したが、一時的とみられる。国内で自治体や職域のワクチン接種支援業務が拡大しているほか、海外事業も全ての地域で好調となった。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|--------------|--------------|----------------|
| 2020/3 | 34,337 | 11.5% |
| 2021/3 | 57,972 | 68.8% |
| 2022/3予 | 80,000 | 38.0% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 93.5倍 | 24.38倍 | 0.18~0.22% |

業績予想：東洋経済、業績は連結ベース、国際会計基準(IFRS)

イビデン (4062)

8/13株価：5,750円

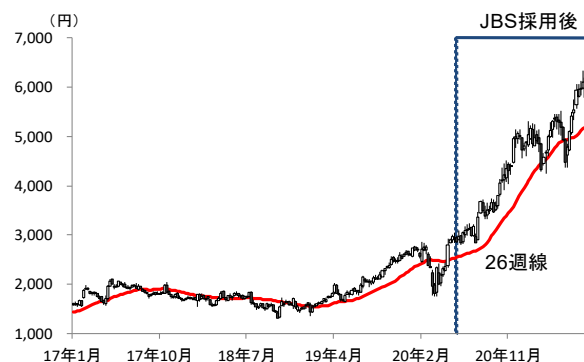
(JBS採用時点株価：3,130円)

●世界トップレベルの技術開発型企业

ICチップとマザーボードを電氣的に繋ぎ、ホコリや湿気から保護する「パッケージ基板」で世界シェア50%を握る。また、ディーゼルエンジンの黒煙フィルターである「DPF」でも世界No.1。

★ICパッケージ基板の好調が続こう

22/3期1Qはパソコン市場の好調に加えて、サーバー市場が堅調に推移。21/3期より量産を始めた大垣工場のICパッケージ基板製造設備が安定しており、継続的な業績の拡大が見込めよう。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|--------------|--------------|----------------|
| 2020/3 | 19,685 | 94.2% |
| 2021/3 | 38,634 | 96.3% |
| 2022/3予 | 48,900 | 26.6% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 25.4倍 | 2.54倍 | 0.61% |

業績予想：岡三証券、業績は連結ベース

オリエンタルランド (4661)

8/13株価：15,745円

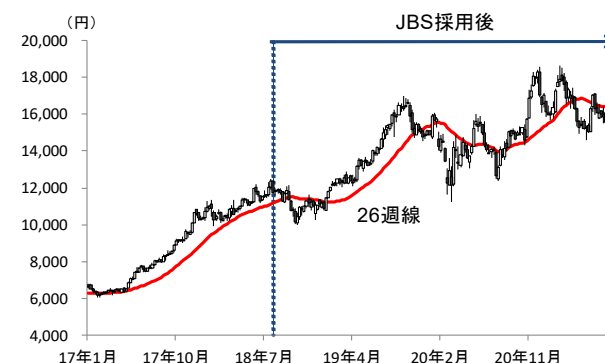
(JBS採用時点株価：11,730円)

●入場制限と運営時間短縮を継続中

東京ディズニーリゾートを運営。新型コロナ感染対策で入場者数の制限や営業時間を短縮して運営し21/3期は赤字に転落。一方、ゲスター人当たりの売上高は増加し、ブランド力の高さは健在。

★今後の施策が業績回復のドライバーに

チケットの変動価格制を21年3月に導入したほか、22/3期は新たなナイトタイムエンターテイメントを実施予定。下半期にはトイ・ストーリーホテルの開業も予定しており、業績回復に期待が持てよう。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|--------------|--------------|----------------|
| 2020/3 | 96,862 | -25.1% |
| 2021/3 | -45,989 | 赤字転落 |
| 2022/3予 | -24,000 | 赤字継続 |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| - | 6.78倍 | 0.17% |

業績予想：岡三証券、業績は連結ベース
※22/3期一株利益が赤字見通しのため予想PERは記載せず

※チャート(週足ベース)、業績は8月13日現在 出所：QUICK 作成：岡三証券

リクルートHD (6098)

8/13株価：6,350円

(JBS採用時点株価：1,461.7円)

●多様なサービスプラットフォームを所有

人材採用や組織開発等の「人材派遣」と飲食や旅行等の情報サービス「メディア&ソリューション」、米Indeedを主軸にグローバルに展開する「HR (Human Resources)テクノロジー」の3事業体制。

★米Indeedの好調が続く

米国における低調な求職活動と強い採用需要の乖離を背景に、Indeed上の有料求人広告利用が増加している。採用競争の過熱感が和らぐのはまだ先とみられ、業績の拡大が見込めよう。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|------------|---------------------|----------------|
| 2020/3 | 206,011 | -7.7% |
| 2021/3 | 162,823 | -21.0% |
| 2022/3予 | 270,000 ~340,000 | 65.8% ~2.1倍 |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 38.0~46.6倍 | 9.51倍 | 0.33% |

業績予想：会社計画、業績は連結ベース、国際会計基準(IFRS)

ダイフク (6383)

8/13株価：9,740円

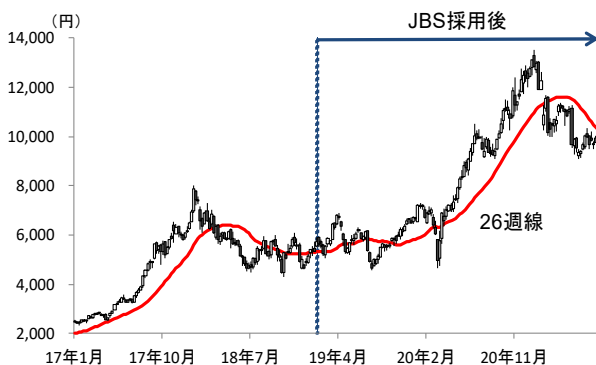
(JBS採用時点株価：5,710円)

●物流システム「マテハン」で世界最大級

物流システムの保管・搬送・仕分けピッキングの3要素全てに対応できる総合メーカー。現場の人手不足や生産性向上・労働時間短縮に貢献する。

★採算性の早期改善に期待

ネット通販の拡大を背景に倉庫内の搬送機器需要が旺盛で、22/3期は2期連続の過去最高売上高を更新する見込み。自動車や半導体生産ライン向けの受注が堅調に推移しており、採算性の早期改善に期待したい。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|---------|
| 2020/3 | 40,497 | -25.9% |
| 2021/3 | 44,566 | 10.0% |
| 2022/3予 | 47,000 | 5.5% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 36.1倍 | 4.77倍 | 0.87% |

業績予想：会社計画、業績は連結ベース

オムロン (6645)

8/13株価：9,860円

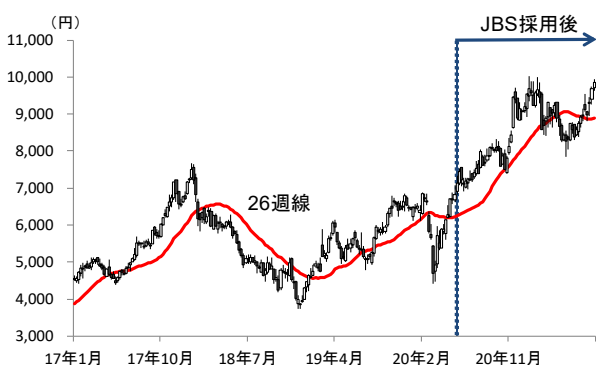
(JBS採用時点株価：7,250円)

●自動化に必要なセンサ技術に強み

20万点に及ぶ幅広い製品を用いて自動化技術を提供する。アフターコロナに向けて新たな省人化や遠隔診療などのニーズに対応する方針を示す。

★注力する制御機器、ヘルスケアが業績を牽引

21/3期は制御機器事業が中華圏で過去最高売上高を達成した。これまで磨き上げてきたソリューション提案型営業を軸に、22/3期は売上総利益率を46.4%へ引き上げる意向。主要なESGインデックスに組み入れられている顔も持つ。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|---------|
| 2020/3 | 54,760 | -18.6% |
| 2021/3 | 62,480 | 14.1% |
| 2022/3予 | 70,000 | 12.0% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 41.4倍 | 3.28倍 | 0.87% |

業績予想：会社計画、業績は連結ベース、米国会計基準

富士通 (6702)

8/13株価：19,380円

(JBS採用時点株価：12,430円)

●多彩な切り口のITシステム企業

システムの構築や運用を手掛けるテクノロジーソリューション事業が主力。また、量子コンピュータの実用化に向けて理化学研究所と連携センターを開設した。研究開発の加速が期待されよう。

★収益体質が向上し、今期も最高益更新へ

22/3期1Qは採算性の改善効果で粗利益率が向上。一方、国内受注は下期に増加予定であるほか、先行投資を進めるグローバルプロジェクトの成果も下期を予定しており、2Q以降も期待ができそうだ。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|---------|
| 2020/3 | 211,483 | 62.4% |
| 2021/3 | 266,324 | 25.9% |
| 2022/3予 | 275,000 | 3.3% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 18.8倍 | 2.66倍 | 1.14% |

業績予想：会社計画、業績は連結ベース、国際会計基準(IFRS)

アドバンテスト (6857)

8/13株価：9,270円

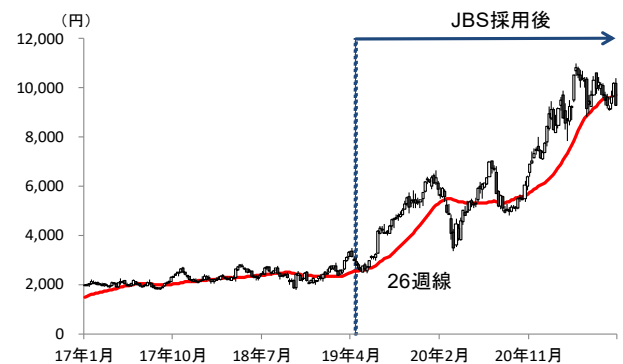
(JBS採用時点株価：2,805円)

●半導体検査装置の大手

半導体の動作試験機器大手で、テスタ市場において5割超のシェアを握る。電子機器全般に組み込まれる半導体チップの高性能化や搭載数量の増加に伴い、テスタの活躍の場が広がっている。

★アジアで受注急増！売上高拡大が続こう

22/3期1Qの受注高は台湾と中国で急拡大し、四半期ベースで過去最高額を更新。SoCテスタ市場の拡大により、今年5月に掲げた新中計の売上高上限3,800億円を上回る上方修正を発表している。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|------------|
| 2020/3 | 58,708 | -9.2% |
| 2021/3 | 70,726 | 20.5% |
| 2022/3予 | 100,000 | 41.4% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 24.7倍 | 6.49倍 | 1.27~2.06% |

業績予想：東洋経済、業績は連結ベース、国際会計基準(IFRS)

ファナック (6954)

8/13株価：24,450円

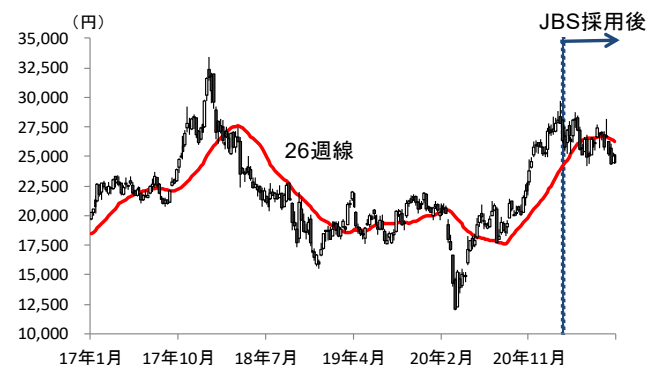
(JBS採用時点株価：29,000円)

●FA商品とデジタル技術で作業効率化を支援

工作機械などに搭載されるCNC装置で世界トップシェア。CNCやサーボモータなどのFA部門を主軸に、ロボット事業、ロボマシン事業(小型マシニングセンタ、電動射出成形機など)なども手掛ける。

★22/3期1Qの受注高合計は四半期で過去最高

22/3期はFA、ロボット、ロボマシンで旺盛な需要が見込まれ上半期および通期業績予想を上方修正した。FA受注高は中国で減少したが、受注高合計(FA・ロボット・ロボマシン)は過去最高。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|---------|
| 2020/3 | 88,350 | -45.9% |
| 2021/3 | 112,514 | 27.4% |
| 2022/3予 | 195,000 | 73.3% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 31.6倍 | 3.29倍 | 2.00% |

業績予想：東洋経済、業績は連結ベース

村田製作所 (6981)

8/13株価：9,064円

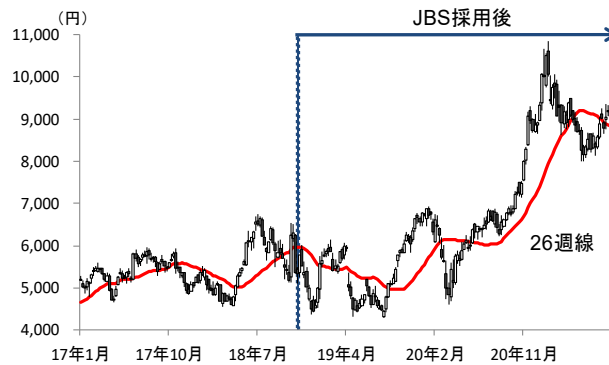
(JBS採用時点株価：5,336.7円 ※株価は分割を考慮)

●積層セラミックコンデンサで世界シェアトップ

材料から製品までの一貫体制を構築。積層セラミックコンデンサやSAW(弾性表面波)のRF(無線周波数)コンポーネントなど高付加価値製品に圧倒的な強みを持つ。

★22/3期通期業績予想を上方修正

22/3期1Qは自動車やスマホ向けが好調を維持。売上高は計画比で上振れし、当期純利益は四半期業績として過去最高を更新。通期業績予想を上方修正し、設備投資計画も見直した。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|--------------|--------------|----------------|
| 2020/3 | 253,247 | -5.1% |
| 2021/3 | 313,240 | 23.7% |
| 2022/3予 | 365,000 | 16.5% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 22.6倍 | 3.02倍 | 1.32% |

業績予想：東洋経済、業績は連結ベース、米国会計基準

トヨタ自動車 (7203)

8/13株価：9,965円

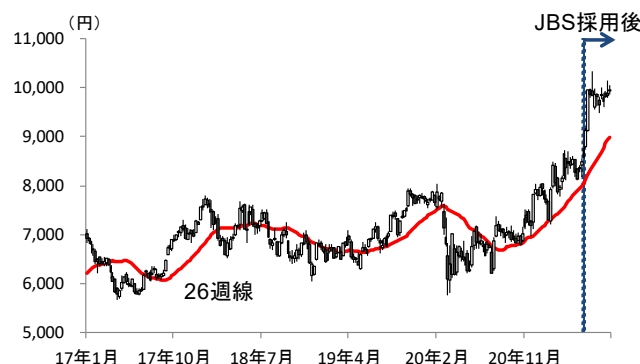
(JBS採用時点株価：8,648円)

●自動車メーカーで世界トップクラス

21/3期のグループ総販売台数は992万台となり世界第1位の自動車メーカーに返り咲いた。国内販売もトップシェアを誇る。22/3期は同総販売台数1,055万台と約6%程度の増加を計画している。

★環境対応車も2019年水準まで回復

22/3期1Qは販売台数の増加により全ての地域で増益または黒字転換した。2030年までの電動車の販売台数目標を800万台とし、うちEVとFCVとで200万台を見込む。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|--------------|--------------|----------------|
| 2020/3 | 2,399,232 | - |
| 2021/3 | 2,197,748 | -8.4% |
| 2022/3予 | 2,500,000 | 13.8% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 12.1倍 | 1.19倍 | - |

業績予想：会社計画、業績は連結ベース
※20/3期より国際会計基準(IFRS)表記のため、伸び率を記載せず。
配当予想は未定のため予想配当利回りは記載せず。

シマノ (7309)

8/13株価：31,850円

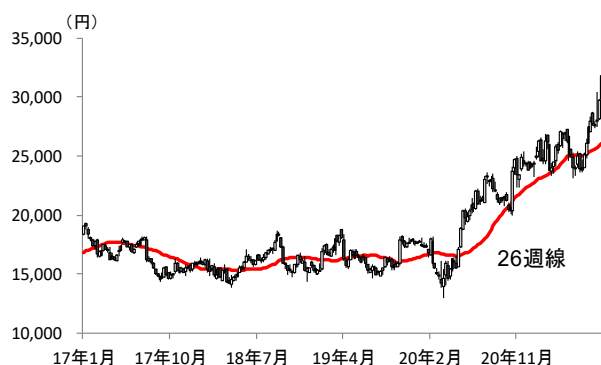
追加

●世界的な自転車部品・釣具メーカー大手

主力の自転車部品は競技用から生活用まで展開。世界的なサイクリング・アウトドアレジャーブームで欧米を中心に旺盛な需要が続く。

★国内外で増産体制の整備が進む

21/12期2Qは電動アシスト自転車からマウンテンバイクまで幅広い製品が好調となったほか、釣具も世界的な高需要が追い風に。国内外での生産体制の増強が原価率の低減に寄与しており、通期業績見通しの上方修正と増配、自社株買いを発表。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|--------------|--------------|----------------|
| 2019/12 | 68,010 | 3.5% |
| 2020/12 | 82,701 | 21.6% |
| 2021/12予 | 124,500 | 50.5% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 31.5倍 | 5.58倍 | 0.74% |

業績予想：東洋経済、業績は連結ベース

トプコン (7732)

追加

8/13株価：1,723円

●「医・食・住」の成長市場でIoT事業を展開

「医」では眼科医療、「食」ではIT農業、「住」では3次元計測やICT自動化施工といった、産業のIT化や自動化を手掛けるIoT機器メーカー。

★省人化ニーズの高まりで業績はV字回復

22/3期1Qは、世界的な自動化ニーズの拡大を受け、売上高・営業利益ともに1Q過去最高を更新した。イタリア医療機器メーカーの買収などを通じて眼科医療事業のグローバル展開を強化しており、22/3期通期の増収・増益・増配計画に貢献しよう。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|---------|
| 2020/3 | 5,381 | -60.4% |
| 2021/3 | 6,593 | 22.5% |
| 2022/3予 | 13,500 | 2.0倍 |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 24.2倍 | 2.61倍 | 1.16% |

業績予想: 岡三証券、業績は連結ベース

オリンパス (7733)

8/13株価：2,239.5円

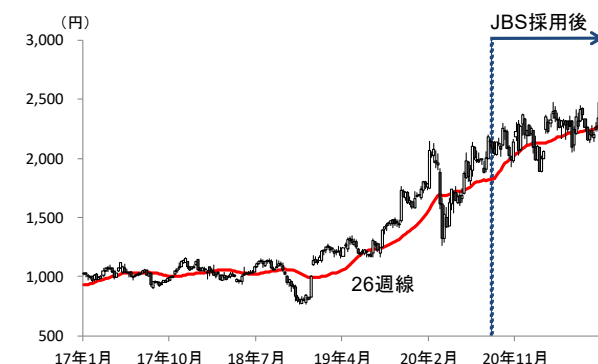
(JBS採用時点株価：2,145.0円)

●消化器内視鏡で世界シェア7割

最先端の消化器内視鏡製品を生み出し続け、圧倒的な世界シェアを維持。また、生物顕微鏡、工業用内視鏡でも4割のシェアを持つ。

★市場回復を追い風に成長加速

医療分野が牽引し、22/3期1Qの売上高は前年同月比で40%増、営業利益は1Qとしては過去最高となった。内視鏡システム「EVIS X1」のEDOFスコープは7月より出荷を再開。通期連結の営業利益、利益率ともに過去最高更新を計画。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|---------|
| 2020/3 | 92,200 | 3.3倍 |
| 2021/3 | 81,985 | -11.1% |
| 2022/3予 | 140,000 | 70.8% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 28.8倍 | 7.30倍 | 0.63% |

業績予想: 東洋経済、業績は連結ベース、国際会計基準(IFRS)

東京エレクトロン (8035)

8/13株価：44,500円

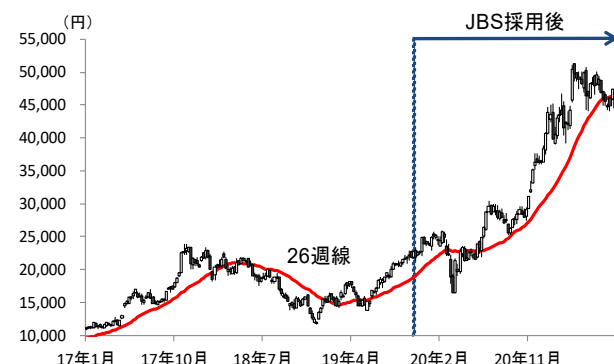
(JBS採用時点株価：22,745円)

●半導体製造装置のリーディングカンパニー

半導体やフラットパネルディスプレイ(FPD)向け製造装置を展開。半導体製造装置の売上高は世界第4位(2020年時点)で、様々なプロセスに対応する幅広いラインナップを揃える。

★研究開発および設備投資を加速

22/3期1Qでは通期計画を上方修正。2021年の半導体前工程製造装置市場は前年比40%程度の成長を見込む。最先端技術ニーズを見据え、研究開発に1,600億円、設備投資に640億円を計画。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|---------|
| 2020/3 | 237,292 | -23.6% |
| 2021/3 | 320,685 | 35.1% |
| 2022/3予 | 466,000 | - |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 19.8倍 | 6.83倍 | 2.53% |

業績予想: 岡三証券、業績は連結ベース ※22/3期より「収益認識に関する会計基準」等適用のため伸び率記載せず。

※チャート(週足ベース)、業績は8月13日現在 出所: QUICK 作成: 岡三証券

ユニ・チャーム (8113)

8/13株価：4,775円

(JBS採用時点株価：3,381円)

●アジアの不織布・吸収体市場で圧倒的存在感

衛生用品大手。ベビー用紙おむつの「ムーニー」や「マミーポコ」、生理用品の「ソフィ」、介護用品の「ライフリー」などを展開し、各カテゴリーにおいてアジアで高いシェアを有している。

★アジア・アフリカなど新興国で成長余地あり

近年は新興国市場の開拓による海外売上比率の向上に注力。21/12期2Qは高収益商品の拡販などで2Q累計期間で過去最高の業績を達成した。製品リサイクルや連続増配でESG推進に取り組む。



| | コア営業利益(百万円) | 伸び率 |
|----------|-------------|---------|
| 2019/12 | 89,779 | -5.6% |
| 2020/12 | 114,744 | 27.8% |
| 2021/12予 | 130,000 | 13.3% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 35.6倍 | 5.81倍 | 0.75% |

業績予想：東洋経済、業績は連結ベース、国際会計基準(IFRS)
※ 営業利益はコア営業利益：売上総利益－販管費等

SGホールディングス (9143)

8/13株価：3,110円

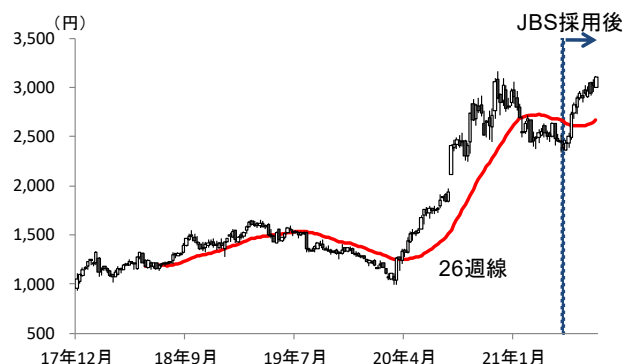
(JBS採用時点株価：2,416円)

●eコマースの普及で物流ニーズは底堅い

佐川急便を傘下に持つ物流大手。足元はeコマースを中心に宅配便の取扱個数が増加しているほか、BtoB宅配の増加で平均単価も上昇傾向。

★スリランカをハブに国際輸送案件を確保

次世代型大規模物流センター「Xフロンティア」が21/3期に本格稼働し、安定した品質でサービスを提供。また、スリランカ子会社が世界的な海上コンテナ需給ひっ迫による旺盛な需要を取り込むなどロジスティクス事業も業績をけん引している。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|---------|
| 2020/3 | 75,447 | 7.2% |
| 2021/3 | 101,726 | 34.8% |
| 2022/3予 | 114,000 | 12.1% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 25.2倍 | 4.96倍 | 1.22% |

業績予想：東洋経済、業績は連結ベース

ファーストリテイリング(9983)

8/13株価：75,430円

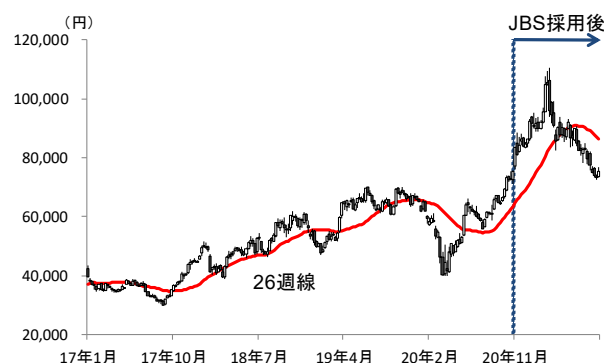
(JBS採用時点株価：83,430円)

●国内は「ユニクロ」が独り勝ち

在宅時間の増加で、カジュアル性や機能性の高い「ユニクロ」ブランドが国内外で高い支持を受けている。海外のユニクロ店舗数は、全ユニクロ店舗の65%(7月15日現在)まで拡大している。

★中華圏に続き欧米市場も回復の兆し

21/8期3Qは、会社計画は下回ったものの全事業で増収増益を達成。なかでも海外ユニクロ事業は北米市場が回復基調であり、値引き抑制や在庫管理が奏功し粗利率が大幅に改善した。



| | 営業利益(百万円) | 伸び率 |
|---------|-----------|------------|
| 2019/8 | 257,636 | 9.1% |
| 2020/8 | 149,347 | -42.0% |
| 2021/8予 | 245,000 | 64.0% |
| 予想PER | 実績PBR | 予想配当利回り |
| 48.5倍 | 8.05倍 | 0.64~0.66% |

業績予想：東洋経済、業績は連結ベース、国際会計基準(IFRS)

～前回採用銘柄の除外理由～

| | | |
|------|-----|--|
| 6701 | NEC | 生体認証技術や5G基地局などの期待材料も多いが、先行投資による利益伸び悩みが株価の重しに。 |
| 9432 | NTT | 日本を代表するICT企業という見方に変化はないが、ここ数年ボックス相場が続いており、安定資産株との位置づけ。 |

★ごあんない★

Japan Best Stockから特に注目の7銘柄

Japan Best Stock 七選！！！！

岡三証券では「Japan Best Stock」として長期保有での溜め込みに適した銘柄を提唱しているが、その中でも特に業績拡大と成長が期待される優良銘柄を「Japan Best Stock 七選」として厳選した。

「Japan Best Stock 七選」は、長期的な資産形成における“急がば回れ”になると考えており、投資家の皆さまの一助として、ぜひお役立ていただきたい。



重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ (<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

地域別の開示事項

日本:

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書及びその補完書面)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<有価証券や金銭のお預りについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預けになる場合は、1年間に3,300円(税込み)の口座管理料をいただきます。加えて外国証券をお預けの場合には、1年間に3,300円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、当社が定める条件を満たした場合は当該口座管理料を無料といたします。

なお、上記以外の有価証券や金銭のお預りについては料金をいただきません。さらに、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株式>

- ・株式の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.375%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。
- ※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債券>

- ・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。
- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ではありますが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.10%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。
お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))
保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.254%(税込み))
換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)
その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

- 自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。
- 2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

香港における本レポートの配布:

本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亜洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亜洲)有限公司にお願いします。

米国内における本レポートの配布:

本レポートは岡三証券が作成したものであり、1934年米国証券取引所法に基づく規則15a-6に規定される米国主要機関投資家のみには配信されたものです。岡三証券は、米国内における登録業者ではないため、米国居住者に対しブローカー業務を行いません。本レポートで言及されている銘柄の売買注文は、アーバック・グレイソン社を通して行います。

なお、本レポートは、受領者及びその従業員が使用することを目的として配信しております。

さらに、本レポートのアナリストは米国で活動をしていないため、米国のリサーチ・アナリストとして登録されておらず、資格も有していません。また、当該アナリストは、アーバック・グレイソン社または他の業者の関係者ではありません。したがって、当該アナリストは、米国金融規制機構(FINRA)規則の適用の対象ではありません。

その他の地域における本レポートの配布:

本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。

地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

(2020年11月改訂)